

# デーヴォ ガイド



**2023.11.6-12**

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

## L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。(2~3つ)
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。  
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い(なるべく短く)
- ④預言の祈り(主の御心を宣言して祈り)をします。

## セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディポジションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

## 家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと?
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか?(または誉めたいですか?)1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか?
- ④互いの必要のために祈りましょう。

## 礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは?(信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど)

②どんな思いになりましたか?(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか?(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか?)

④この世にあって何を実践しますか?

## 6日 月曜

### 箴言

12:17 真実の申し立てをする人は正しいことを言い、偽りの証人は嘘を告げる。

12:18 軽率に話して人を剣で刺すような者がいる。しかし、知恵のある人の舌は人を癒やす。

12:19 真実の唇はとこしえまでも堅く立つ。偽りの舌はまばたきの間だけ。

12:20 悪を企む者の心には欺きがあり、平和を図る人には喜びがある。

12:21 正しい人には何の害悪も降りかからない。悪しき者はわざわいで満ちる。

12:22 偽りの唇は【主】に忌み嫌われ、真実を行う者は主に喜ばれる。

12:23 賢い人は知識を隠し、愚かな者は自分の愚かさを言いふらす。

12:24 勤勉な者の手は支配するが、無精者は苦役に服する。

12:25 心の不安は人を落ち込ませ、親切なことは人を喜ばせる。

12:26 正しい人はその友の道案内。悪しき者の道は自らを迷わせる。

12:27 無精者は獲物を火であぶらない。勤勉さは人間の貴重な財産である。

12:28 義の道にはいのちがあり、その道筋には死がない。

申し立てや話に、真実と知恵があるようにしましょう。「率直に」何でもありのままを話して、自分は間違っていないと言っても、人を「剣で刺す」ような発言は「軽率」なだけです。「知恵ある」人は癒すのだと知しましょう。

自分が賢いと思って、誇ったりマウントしたりするのは、人から見たら「愚か者」であることが見え見えます。

しもべのような仕事は好まない人も多いでしょう



が、勤勉にこれを成し通せば、必ずや人を「支配」するほどに、力あるものとなることを知って励みましょう。

心の不安を訴えるだけの人ではなく、親切なことばで人を喜ばせることもしましょう。また自分には財産がないと嘆いている人は、「勤勉」に生きることを始めて、それを「財産」としましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 7日 火曜

### 箴言

13:1 知恵のある子は父の訓戒を聞き、嘲る者は叱責を聞かない。  
13:2 人はその口の実によって良きものを食べるが、裏切り者は不法を貪る。  
13:3 自分の口を見張る者はたましいを守る。唇を大きく開く者には滅びが来る。  
13:4 怠け者の心は欲を起こしても何も得ない。勤勉な者の心は豊かに満たされる。  
13:5 正しい人は偽りのことばを憎む。悪しき者は悪臭を放ち、恥ずべきふるまいをする。  
13:6 義のわざは誠実な道を保ち、悪のわざは道を誤らせて罪に導く。  
13:7 富んでいるふりをして、何も持たない者がいる。貧しいふりをして、多くの財産を持つ者がいる。  
13:8 富はその人のいのちの身代金である。しかし、貧しい者は脅しを聞くこともない。  
13:9 正しい人の光は輝き、悪しき者のともしびは消える。  
13:10 高ぶりがあると、ただ争いが生じるだけ。知恵は勧告を聞く者とともにある。  
13:11 急に得た財産は減るが、少しずつ集める者は、それを増す。  
13:12 期待が長引くと、心は病む。望みがかなうことは、いのちの木。

自分には知恵があるから、他の人の訓戒など不要と思っている人ほど、実は愚かなのです。特に親の「訓戒」に耳を傾けましょう。口は欲望が表れます。何でも欲しがらずに、「欲」を見張りましょう。

人の豊かさは表面では分かりません。心の豊かさ、主の祝福の豊かさ、愛情の豊かさなど、本当に「富んでいる」人となりましょう。単に物質的な「富」



ばかり求めても、主の守りはありません。命が危ういような危険には、せつかく貯めた富を「身代金」のようにして失うでしょう。しかし、主のために「貧しい」状況さえ受けるなら、何者にも「脅し」を受けることなく守られます。「期待が長引く」と心が病みますから、主に聞いて、それが単に自分勝手な願望か、主の御計画を知る必要があります。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## ➤ 8日 水曜

### 箴言

13:13 みことばを蔑む者は身を滅ぼし、命令を尊ぶ者は報われる。

13:14 知恵のある者のおしえはいのちの泉。これによって、死の罠から逃れることができる。

13:15 深い思慮は好意を生む。裏切り者の道は滅びに至る。

13:16 すべて賢い人は知識によって行動し、愚かな者は自分の愚かさを言い広める。

13:17 悪い使者はわざわざいに陥り、忠実な使者は人を癒やす。

13:18 貧乏と恥は訓戒をなおざりにする者に来る。しかし、叱責を大事にする者は誉れを得る。

13:19 望みがかなえられるのは心地よい。愚かな者は悪から離れることを忌み嫌う。

13:20 知恵のある者とともに歩む者は知恵を得る。愚かな者の友となる者は害を受ける。

13:21 わざわいは罪人を追いかけるが、正しい人は幸いで報われる。

13:22 善良な人は子孫に遺産を残す。罪人の財産は正しい人のために蓄えられている。

13:23 貧しい者の耕地に、多くの食糧があっても、それは不当に取り去られる。

13:24 むちを控える者は自分の子を憎む者。子を愛する者は努めてこれを懲らしめる。

13:25 正しい人は食べてその食欲を満たし、悪しき者は腹をすかせる。

命令や教えを大切にしましょう。特に神のみことばです。また深い思慮、賢い知識によって行動しましょう。「使者」のように人に何かを伝えるときには、恣意的に曲げたり、自分の利益を計ったりするような「悪い使者」でないようにしましょう。また



人を「癒す」ほどの「使者」でありましょう。それには主に「忠実」であることです。

「知恵のある者」と交わりましょう。ただ一緒にいるだけでなく、「歩む」すなわち同労者として協力しましょう。

「正しい人」「善良な人」となって、主の守りにより、豊かさを残す人になりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



14:1 知恵のある女は家を立て、愚かな女は自分の手でこれを壊す。  
 14:2 まっすぐ歩む者は【主】を恐れ、曲がった道を行く者は主を侮る。  
 14:3 愚か者の口には、高ぶりへのむち。知恵のある者の唇は自分を守る。  
 14:4 牛がいなければ飼葉桶はきれいだが、豊かな収穫は牛の力による。  
 14:5 真実な証人は偽りを言わない。偽りの証人は偽りを吹聴する。  
 14:6 嘲る者は知恵を求めても得られない。悟る者には知識を得るのは易しい。  
 14:7 愚かな者の前を離れ去れ。知識の唇は、そこに見出せない。  
 14:8 賢い人の知恵は自分の道をわかまえること。愚かな者の愚かさは欺きにある。  
 14:9 愚か者は罪の償いを嘲る。心の直ぐな人たちの間には恩寵がある。  
 14:10 心はその人自身の辛さを知っている。その喜びにほかの者はあずかれない。  
 14:11 悪しき者の家は滅ぼし尽くされ、心の直ぐな人の天幕は栄える。  
 14:12 人の目にはまっすぐに見えるが、その終わりが死となる道がある。  
 14:13 笑うときにも心は痛み、その終わりには、喜びが悲しみとなる。  
 14:14 心の放埒な者は自分の道に満足する。善良な人は彼から離れる。  
 14:15 浅はかな者はどんなことばも信じるが、賢い人は自分の歩みを見極める。  
 14:16 知恵のある者は慎重で、悪を避けるが、愚かな者は怒りやすく、自信が強い。

自分は「知恵のある女」であるか、「主を恐れ」しているか、「高ぶり」がないか、自らを吟味しましょう。また「飼葉桶」をきれいに保つように、面倒なことをしないで済ませていないでしょうか。力を生んで成功するには、苦労や汚れ役が必要です。

偽る人は「吹聴する」ものです。信じる前に知恵を働かせましょう。また自分の立場を良くするために「嘲る」ように人を低めるような発言をしないように気を付けましょう。また相手が「愚か」であるか「賢い」人であるかを見極めることも大切です。現実を把握することで、より愛することもできます。

心が本人のことしか分らないものであることは、現実です。「喜び」にあずかれないものではありますが、聖霊によって知ることができますから、愛の聖霊に聞きましょう。

「悪しき者」の道が書かれています。表面的には「笑」っているようで、悪者が幸せのようにも見えますが、実は「心は痛み」「喜びが悲しみ」になってしまうものです。

自分は賢いと「自信」を持っている人こそ、実は「愚か」であることを忘れないようにしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## ➤ 10日 金曜

### 箴言

14:17 短気な者は愚かなことをし、悪を企む者は憎まれる。

14:18 浅はかな者は愚かさを受け継ぎ、賢い人は知識の冠をかぶる。

14:19 悪人は善良な人の前で、悪しき者は正しい人の前で、身をかがめる。

14:20 貧しい者はその隣人にさえ憎まれるが、富む者は多くの者に愛される。

14:21 自分の隣人を蔑む者は罪人。貧しい者をあわれむ人は幸いだ。

14:22 悪を企む者はさまよわないだろうか。しかし、善を図る者には恵みとまことがある。

14:23 いかなる労苦にも利益がある。無駄口は損失を招くだけ。

14:24 知恵のある者の冠はその者の富。愚かな者の愚かさは、ただ愚かさ。

14:25 真実な証人は人のたましいを救う。欺く者は偽りを吹聴する。

14:26 力ある拠り所は【主】を恐れることにあり、それは主の子らの避け所となる。

14:27 【主】を恐れることはいのちの泉、死の罟から離れさせる。

14:28 王の栄えは民が多いこと。君主の滅びは国民がいなくなること。

14:29 怒りを遅くする者には豊かな英知がある。気の短い者は愚かさを増す。

14:30 穏やかな心は、からだのいのち。ねたみは骨をむしばむ。

14:31 弱い者を虐げる者は自分の造り主をそしり、貧しい者をあわれむ者は造り主を敬う。

14:32 悪しき者は自分の悪によって押し倒されるが、正しい人は自分の死の中にも逃れ場がある。



14:33 知恵は悟る者の心のうちに安らぎを得る。愚かな者の間でもそれは知られている。

14:34 正義は国を高め、罪は国民を辱める。

14:35 王の好意は賢明なしもべに、王の激怒は恥知らずの者に。

「短気」とあるように、感情的な反応で行動・発言しないように、常に主に聞く習慣を身に付けましょう。時として「悪人」でも「身をかがめる」ような謙遜に見せることもありますから、気を付けなくてはなりません。しかし、私たちが「正しい」人であるなら、やがて本当に「悪人」が身をかがめるようになるでしょう。

人を「蔑む」くらいの勝ち組になれば、そのひとは満足かもしれませんが、実はそれは「罪人」の部類に入ります。成功しても、敬意とあわれみを持ち続けましょう。

仕事に不満を持っている人がほとんどだと思いますが、「いかなる労苦にも利益がある」と理解しましょう。それはその仕事に導いてくださった主の約束です。

主を「恐れ」て、力ある者となりましょう。民はその心が王を慕っているかどうかによって、その行動が決まります。権力のない者ならなおさらです。人から慕われるには、主の愛と知恵が必要です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



15:1 柔らかな答えは憤りを鎮め、激しいことばは怒りをあおる。  
 15:2 知恵のある者の舌は知識をうまく用い、愚かな者の口は愚かさを吐き出す。  
 15:3 【主】の目はどこにもあり、悪人と善人を見張っている。  
 15:4 穏やかな舌はいのちの木。舌のねじれは霊の破れ。  
 15:5 愚か者は自分の父の訓戒を侮る。叱責を大事にする者は賢くなる。  
 15:6 正しい人の家には多くの富がある。悪しき者の収穫はわざわいをもたらす。  
 15:7 知恵のある者の唇は知識を広める。愚かな者の心はそうではない。  
 15:8 悪者のいけにえは【主】に忌み嫌われ、心の直ぐな人の祈りは主に受け入れられる。  
 15:9 【主】は悪しき者の道を忌み嫌い、義を追い求める者を愛される。  
 15:10 道を捨てる者には厳しい懲らしめがあり、叱責を憎む者は死に至る。  
 15:11 よみと滅びの淵は【主】の前にある。人の子らの心はなおさらのこと。  
 15:12 嘲る者は叱られることを好まない。知恵のある者にも近づかない。  
 15:13 喜んでいる心は、顔色を良くする。心の痛みの中には、打ちひしがれた霊がある。  
 15:14 悟りのある者の心は知識を求めるが、愚かな者の口は愚かさを食いあさる。  
 15:15 悩み苦しむ者の毎日は悪いことのみ。心に楽しみのある人には毎日が祝宴。

「柔らかな答え」とは、表現の仕方や物腰の問題でしょう。内容が間違っていなければ良いというものではないことが分かります。「知恵」があるだけ

でなく、それをうまく用いることが大切ですから、私たちは動機や目的、そして結果が求められます。「舌のねじれ」のようにことばでうまくいかないときは、「霊の破れ」のように信仰の問題かもしれません。

「悪しき者の収穫」というように、悪いことでも利益をもたらすこともあります。結果的には「わざわい」を刈り取っていることを知りましょう。また悪いものはどんなに宗教的であっても、「いけにえ」も「道も」受け入れられません。主の前に正しく歩みましょう。

「よみと滅びの淵」のように計り知れないところで、主にとっては「前にある」ように手に取るように知られています。まして「人の心」などは「なおさら」で、主には全て知られているのですから、主の前には正直なものでありましょう。

毎日は「悪いこと」と「楽しみ」の繰り返しですが、主にあっては全てが益となります。その信頼と感謝で生きるなら、「毎日が宴会」のように、喜びになるでしょう。要は私たちの信仰なのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## ➤ 12日 日曜

### 箴言

15:16 わずかな物を持って【主】を恐れることは、豊かな財宝を持って混乱するよりも良い。

15:17 野菜を食べて愛し合うのは、肥えた牛を食べて憎み合うのにまさる。

15:18 激しやすい者は口論を引き起こし、怒りを遅くする者は争い事を鎮める。

15:19 怠け者の道は茨の生け垣のよう。直ぐな人の進む道は平らな大路。

15:20 知恵のある子は父を喜ばせ、愚かな人はその母を蔑む。

15:21 良識のない者には愚かさが喜び。英知のある者はまっすぐ歩む。

15:22 よく相談しなければ、計画は倒れる。多くの助言者によって、それは成功する。

15:23 適切な返事をするには、その人の喜び。時宜にかなったことばは、なんと麗しいことか。

15:24 賢明な者はいのちの道を上って行く。下にあるよみから離れるためだ。

15:25 【主】は高ぶる者の家を根こそぎにし、やもめの地境を決める。

15:26 悪人の計画は【主】に忌み嫌われる。親切なことばは、きよい。

15:27 利得を貪る者は自分の家族を困らせ、賄賂を憎む者は生きながらえる。

15:28 正しい人の心は、どう答えるかを思い巡らす。悪しき者の口は悪を吐き出す。

15:29 【主】は悪しき者から遠くにおられ、正しい人の祈りを聞かれる。

15:30 目の光は心を喜ばせ、良い知らせは人を健やかにする。

15:31 いのちに至る叱責を聞く耳は、知恵の



ある者の間に宿る。

15:32 訓戒を無視する者は自分自身をないがしろにする。叱責を聞き入れる者は良識を得る。

15:33 【主】を恐れることは知恵の訓戒。謙遜は栄誉に先立つ。

誰もが豊かな生活をしたいと思うでしょうが、本当の幸せが何であるかを知らない。「財宝を持って混乱」し「肥えた牛を食べて憎み合う」ようになってしまいます。「主を恐れ」て「愛し合い」ましょう。

「怒り」は誰にでもあります、それを「遅く」することはできるかも知れません。「争い事を鎮め」ましょう。

人は樂することを求めて「怠け」るのですが、結局は「茨の」道になってしまい、何倍もの苦がまっていることとなります。心を「直ぐ」なものにして、変な方法に頼ったりしない「大路」を行きましょう。

人によく相談しましょう。相手の事情や神様のチャンスに沿って、「自宣」にかなったことばをかけてあげましょう。主に祝福される歩をし、主を愛して信頼して頼るゆえに「恐れる」者でありましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

